

平安時代の山林寺院と越前の遺跡

久保 智康

1. 古代山林寺院の成立と存続パターン

- ・ 8世紀半ば～9世紀前半に成立するが多い
 - a: 100～200年の短期間で廃絶
 - b: 10～12世紀にいっそう拡大。中世へと展開。
- 問題点/aとbを分けた要因は何か?

2. 初期山林寺院の立地(里の山の信仰空間)

- ・ 平野からさほど遠くない山間地。平野から少し隠れた位置。
 - 距離的、視覚的隔絶性・「浄所」における起居、修行
 - 雨乞いや病氣平癒の祈祷、写経、造寺・造仏の智識を募る。
- ・ 平地から望める特定の山に複数の寺院が存在・全体で一つの信仰空間を形成
 - 共通の尊像を奉じる(山の本地仏) Ex)明寺山廃寺-高尾山遺跡-鐘島遺跡
 - 逆に現世利益の内容を差別化。 下開谷遺跡-寺山遺跡群
 - 共同で法会を営む。 大谷寺-越知山
- ・ 平地寺院との有意なつながり
 - 平地寺院:修学、山林寺院:禅行
 - 檀越の関係

3. 国府をめぐる信仰空間

- ・ 上記bパターンの寺院分布
 - 国府を中心に展開 Ex)日野山、文殊山、鬼ヶ岳
 - 国界・郡界の付近、交通路沿い。 畿内七高山、湖西大知波峠廃寺
 - ・ 薬師如来や観音菩薩を本尊に悔過法要を営む
 - 国や郡域の守護、安寧を祈願
- 国衙との関わりが平安時代半ば以降の存続を支えた?

※仏教彫刻の語るもの

仏像の造像時期/山林寺院の動向をよく反映する
尊種の組み合わせ・山の本地仏の変化を示す

Ex) 文殊山:薬師(帆谷薬師堂)・十一面観音(二上観音堂)・文殊(楞嚴寺)

→13世紀ころ白山三所権現へ?(南井片上神社)

日野山:薬師(西谷一ノ宮)・阿弥陀(中平吹十五社)・岩内三ノ宮)・聖観音(荒谷観音堂)

4. 白山をめぐる信仰空間

- ・ 12～13世紀の画期

平安時代に存続した各地の山林寺院が白山信仰の寺としてネットワーク化

- ・ 各遺跡が寺勢を拡大する時期に一致する

- ・ 論理的根拠／泰澄伝の喧伝

Ex) 「本朝神仙伝」 天永二年(1111)以前成立

越知山「泰澄和尚伝記」 正中二年(1325)以前成立

- ・ 具体的手段／白山三所権現像の造像

大谷寺所権現像－12世紀

片上神社三所権現像－13世紀

↓

- ・ さらに延暦寺末となるなど、中央権門とのつながりも強める
より広域の白山信仰ネットワークの形成

5. 山林寺院の空間構成論

- ・ 仏地と僧地

仏地的建物／金堂、本堂、塔・・・僧地的建物／講堂、経蔵、僧坊・・・

平安時代以降は、「講堂」が主たる仏堂で、かつ修行道場となった

- ・ 金堂と講堂を弁別することはできない

→規模の大きな建物・平坦地：仏地的性格が相対的に大きい

- ・ 仏地・僧地の位置関係

主堂(仏地的建物)は主平坦面の最奥部。

前方に空間地

Ex) 広い例／明寺山廃寺(仮屋あり・・・庭儀法要に使用か)

さほど広くない例／三小牛ハバ遺跡、浄水寺跡

僧地的建物は、谷寄りに設けられることが多い

Ex) 明寺山廃寺、三小牛ハバ遺跡

さらに僧地的性格の強い平坦面が下方前面に向かって展開

Ex) 神護寺、崇福寺

- ・ 理由／①造成作業順序を反映した現実的理由

②山林寺院内で法儀を執り行う僧尼の主体性を反映

☆中世以降の寺院の空間構成理念を先取りしたのが古代山林寺院であった

- ・ 聖地と俗地

山林寺院の寺地／清浄なる聖地

俗地との隔絶性・・・具体的距離は1～3km程度にすぎない

Ex) 「又梵釈二寺者、禅居之浄域、伽藍之勝地也。道俗相集、還穢佛地。繫馬牽牛、

犯汚良繁。宣令近江国嚴加禁断。」(『日本後紀』弘仁六年(815)正月十五日条)

- ・ 「里の聖地」の存在・・・聖地としての山林寺院寺域と俗地を結ぶところ

平地に出るあたりに、墓域や鎮守が置かれる

Ex) 鬼ヶ岳－大虫神社、神護寺－梅ヶ畑遺跡群・平岡八幡宮、安祥寺上寺－下寺・御陵地区

(文献) 久保「北陸の山岳寺院」『考古学ジャーナル』382、1994

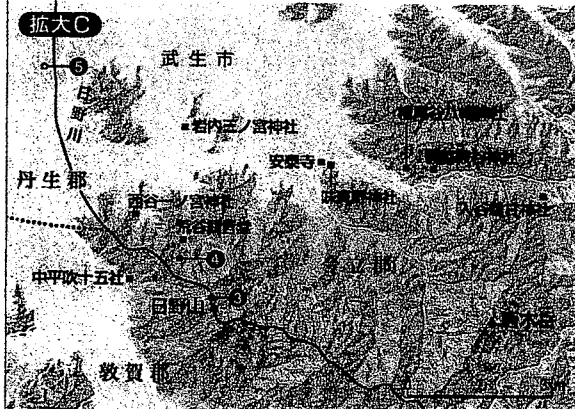
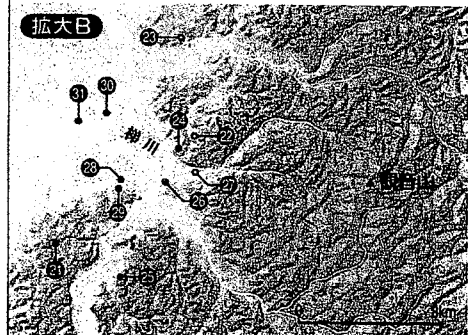
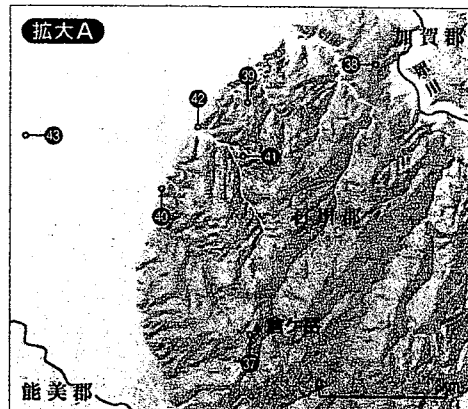
「古代の信仰と寺院」『福井市史通史編1古代・中世』1997

「北陸の山岳寺院」『考古学ジャーナル』426、1998

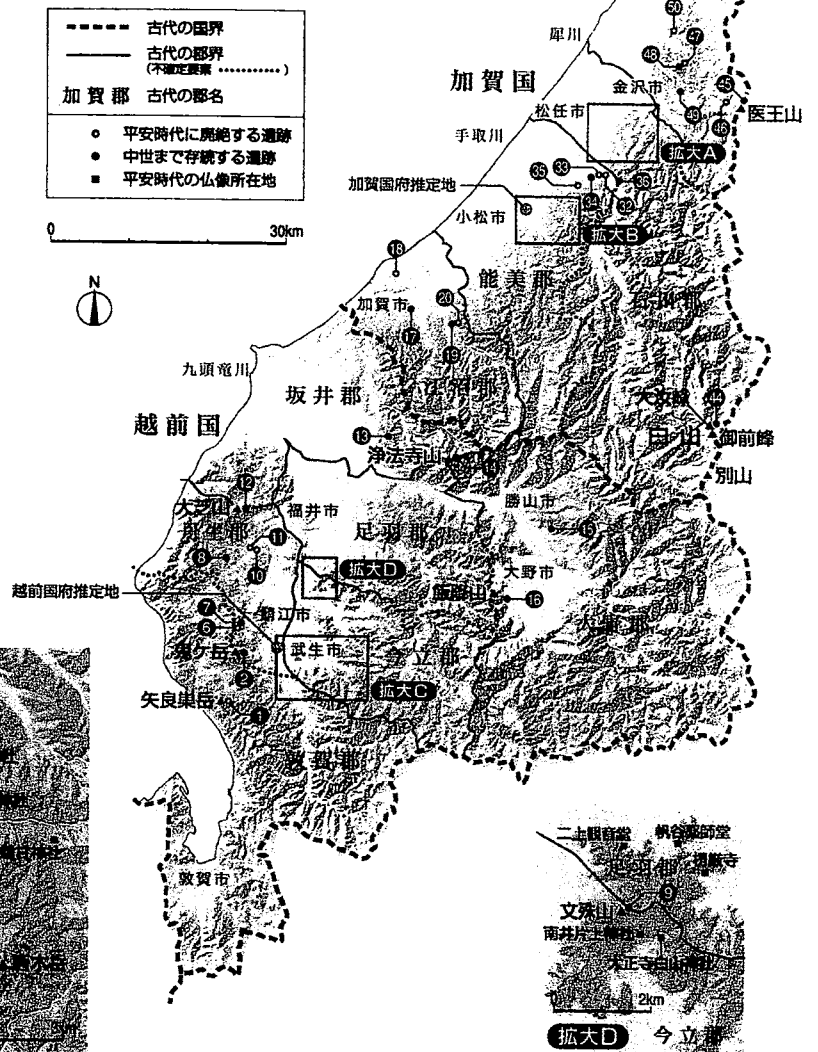
「国府をめぐる山林寺院の展開－越前・加賀の場合」『朝日百科日本の国宝別冊国宝と

歴史の旅3神護寺薬師如来像の世界』朝日新聞社1999

「古代山林寺院の空間構成」『古代』110、早稲田大学考古学会2001(近刊予定)



加賀・越前の主な古代山林寺院と 関連遺跡・寺社



遺跡のデータ 丸数字は地図上の番号

	遺跡名	所在地	立地	遺跡の時期幅	文献
越前(坂井郡)の遺跡	① マンダラ寺遺跡	南条郡河野村河野	矢良岳岳中腹の尾根	8~10世紀	久保1990
	② 鬼ヶ岳山頂遺跡	武生市大虫町	山頂	8-9世紀~近世	松山和彦氏教示
	③ 日野山山頂遺跡	武生市中平吹町	山頂	平安~近世	
	④ 荒谷大寺跡	武生市荒谷町	日野山中腹尾根上	12(?)世紀~近世	
	⑤ 府中城跡(国分寺跡か)	武生市幸町	平地寺院	8~9世紀	斎藤1998
	⑥ 下開谷遺跡	丹生郡宮崎村開谷	丘陵尾根上	8~9世紀	久保1991
	⑦ 寺山遺跡群	丹生郡宮崎村開谷・寺	山間地一帯、平地部	8-9世紀~近世	久保1997
	⑧ 大谷寺	丹生郡朝日町大谷寺	越知山登拝道基点、山間地一帯	9世紀~近世	久保1997 堀1999
	⑨ 文殊山山頂遺跡	福井市文殊町	山頂直下の平地	9世紀	久保1997
	⑩ 明寺山奥寺	丹生郡清水町大森	丘陵頂部付近の尾根上	9~10世紀	古川他1998
	⑪ 鐘島遺跡	丹生郡清水町大森	明寺山直下、平地寺院	8~10世紀	古川他1998
	⑫ 高尾山遺跡	福井市本堂町	高尾山山頂直下の平地	9(?)世紀~中世	久保1997
	⑬ 豊原寺跡	坂井郡丸岡町豊原	山間地一帯	9世紀~近世	小野1986
	⑭ 浄法寺山山頂遺跡	吉田郡永平寺町浄法寺	山頂	9世紀~近世	久保1986-1990
⑮ 平泉寺跡	勝山市平泉寺町	白山登拝道基点、山間地一帯	9世紀~近世	宝珍1990~94	
⑯ 仏性寺	大野市下黒谷	飯降山山麓	12世紀~近世		

文献リスト

宇野隆夫・西井龍徳他1993『医王山文化調査報告 医王は語る』福光町/小野正敏1986『豊原寺』福井県史 資料編13考古/岡本真1984『夕日寺B遺跡出土遺物』『石川考古』156号 石川考古学研究会/金沢大学埋蔵文化財センター1999『金沢大学角間遺跡第2調査地南地点見学会』資料/野内次郎1989『浄水寺墨書資料集』石川県立埋蔵文化財センター/櫻田誠1992『小松市埋蔵文化財調査だより』2号。小松市教育委員会/櫻田誠1996『小松市埋蔵文化財調査だより』6号。小松市教育委員会/木立雅樹1987『末松岡寺』『北陸の古代寺院』桂書房/久保智廣1986『古鏡の奥一出土鏡を中心に』福井県立博物館/久保智廣1990『マンダラ寺遺跡』『平成元年度発掘調査報告会資料』福井県教育庁埋蔵文化財調査センター/久保智廣1991『古代越前の山中寺院』『ふくいミュージアム』19号。福井県立博物館/久保智廣1997『古代の信仰と寺院』『福井市史通史編』古代・中世/國學院大学考古学資料館1989『白山山頂寺跡調査報告』『国史大』1999『福井県大谷寺遺跡の成立に関する一考察』『文化史学』55

(久保1999を一部修正)

遺跡名	所在地	立地	遺跡の時期幅	文献
① 南郷堂林遺跡	加賀市南郷町	丘陵中腹、谷奥	8~13世紀	久保1997
② 高尾廃寺	加賀市高尾町	大山山麓	10~11世紀	小森・田嶋1980
③ 柏野寺跡	加賀市柏野町	丘陵山麓、白山神社境内	9(?)世紀~中世	
④ 宇谷B遺跡	加賀市宇谷町	峠直下の谷奥、柏野寺の北隣の谷	9世紀	南加賀城跡調査団1985
⑤ 浄水寺跡	小松市八幡町	キヨミズ山南東緩斜面、谷奥	8~15世紀	垣内1989
⑥ 里川E遺跡	小松市里川町	丘陵中腹斜面	9~10世紀	榎田1992
⑦ 八里向山B遺跡	小松市八里町	丘陵上	9世紀	榎田1996
⑧ 隆明寺跡	小松市軽海町	丘陵尾根上	10世紀~中世	
⑨ 藤園寺跡	小松市五国寺町	丘陵尾根上	12世紀~中世	藤田他1986
⑩ 仏性寺跡	小松市遊泉寺町	丘陵山麓、平地寺院	12(?)世紀~中世	藤田他1986
⑪ 湧泉寺跡	小松市遊泉寺町	丘陵谷奥、平地寺院	9世紀~?	藤田他1986
⑫ 西方寺遺跡	小松市軽海町	丘陵山麓、平地寺院	10世紀~中世	三浦他1994
⑬ 観海廃寺	小松市軽海町	平地寺院、中世墓地隣接	10世紀~中世	宮下1987
⑭ 十九堂山遺跡(古南麩寺)	小松市古府町	平地寺院、中世墓地隣接	10世紀~中世	宮下1987
⑮ 古府遺跡・フンド遺跡	小松市古府町	平地寺院か	9世紀~中世	宮下・望月1987
⑯ 宮竹うっしよやまA遺跡	能美郡辰口町宮竹	丘陵斜面~谷あい	8~12世紀	西野他1998
⑰ 庄が屋敷B遺跡	能美郡辰口町宮竹	丘陵尾根上	8~10世紀	西野1993
⑱ 瀧谷寺跡	能美郡辰口町長瀬	丘陵中腹	9世紀~中世	西野1997
⑲ 和京小しょうぶ谷A遺跡	能美郡辰口町和気	丘陵緩斜面	8世紀	橋場1997
⑳ 古宮遺跡	石川郡鶴来町白山	手取川段丘上、白山北畔神社旧地	10~15世紀	小阪1996
㉑ 倉ヶ岳山頂遺跡	石川郡鶴来町和気寺	山頂直下の平坦地	8世紀	松山1990
㉒ 三小牛ハV(遺跡(三千寺跡))	金沢市三小牛町	野田山丘陵中腹	8~9世紀	南1994
㉓ 推定風尾山寺跡	金沢市高尾町	丘陵中腹	9世紀	松山和彦氏教示
㉔ 推定止観寺跡	金沢市四十方町	丘陵山麓	9世紀	宮本1990
㉕ 懸谷御前谷遺跡	金沢市懸谷町	丘陵中腹斜面	10世紀	宮本1993a
㉖ 懸谷カネヤブ遺跡	金沢市懸谷町	丘陵山麓	8~9世紀	谷口1995
㉗ 末松廃寺	石川郡々々市町末松	平地寺院	7~12世紀	木立1987
㉘ 白山山頂遺跡	石川郡白峰村	山頂	9世紀~近世	国学院大学1988
㉙ 医王山三千坊遺跡	金沢市二俣町・富山県福光町広谷	三千坊ピーク付近の平坦面	9世紀~中世	宇野・西井他1993、藤1997
㉚ 医王山鷹岩遺跡	金沢市二俣町	鷹岩と上方尾根の間の斜面	10世紀	宮本1993b
㉛ 釣部A遺跡	金沢市釣部町	丘陵頂部直下の斜面	10世紀	松山・小阪1992
㉜ 夕日寺B遺跡	金沢市夕日寺町	釣部A遺跡の西隣尾根上斜面	10~13世紀	岡本1984
㉝ 角間遺跡(一乗寺跡)	金沢市角間町	丘陵中腹	9世紀~中世	金沢大学埋文センター1999
㉞ 観法寺遺跡(推定勢勒寺跡)	金沢市観法寺町	丘陵山麓、谷奥	8~11世紀	小嶋1977

学院大学考古学資料館紀要4編/小阪大1996「石川郡鶴来町古宮遺跡の発掘調査」『石川考古』238号 石川考古学研究会/小嶋芳孝1977「発跡寺推定地について」『石川考古学研究会会誌』20号/小嶋芳三・田嶋正和1980「高尾廃寺跡発掘調査報告」加賀市教育委員会/斎藤秀一1998「越前国府跡の発掘調査」『埋文たけふダイジェスト』2 武生市教育委員会/谷口宗治1995「懸谷カネヤブ遺跡」金沢市教育委員会/西野秀和1993「庄が屋敷B遺跡」『能美丘陵東遺跡群』石川県立埋文文化財センター/西野秀和1997「瀧谷寺跡」『能美丘陵東遺跡群II』石川県立埋文文化財センター/西野秀和1998「宮竹うっしよやまA遺跡」『能美丘陵東遺跡群III』石川県立埋文文化財センター/橋場和彦1997「辰口町南郷丘陵遺跡群」『石川考古』242号 石川考古学研究会/藤田他1986「観海遺跡」石川県立埋文文化財センター/古川登雄1998「越前・明寺山廃寺」清水町教育委員会/室珍伸一郎1990~94「白山平泉寺発掘調査報告」勝山市教育委員会/橋本大1997「医王山鷹岩寺をめぐって」『石川考古学研究会会誌』40号/松山和彦1990「倉ヶ岳山頂南側築物の古代遺物について」『石川考古』203号 石川考古学研究会/松山和彦・小阪大1992「金沢市釣部町の古代遺跡について」『石川考古』209号 同前「三浦ゆかり他1994「観海西野寺遺跡」石川県立埋文文化財センター/南加賀城跡調査団1985「加賀市宇谷町地内の新遺跡について」『石川考古』161号 石川考古学研究会/南久和1984「三小牛ハV(遺跡) 金沢市教育委員会/宮下幸夫1987「観海廃寺」『十九堂山遺跡』フンド遺跡」『北陸の古代寺院』桂書房/宮本哲郎1990「金沢市四十方ヒッコジ遺跡について」『石川考古』201号 石川考古学研究会/宮本哲郎1993a「懸谷御前谷遺跡について」『石川考古学研究会会誌』36号/宮本哲郎1983b「医王山鷹岩寺付近発見の土器から」『石川考古』215号 石川考古学研究会/望月晴司1987「古府遺跡」『北陸の古代寺院』桂書房

加賀(石川)の遺跡

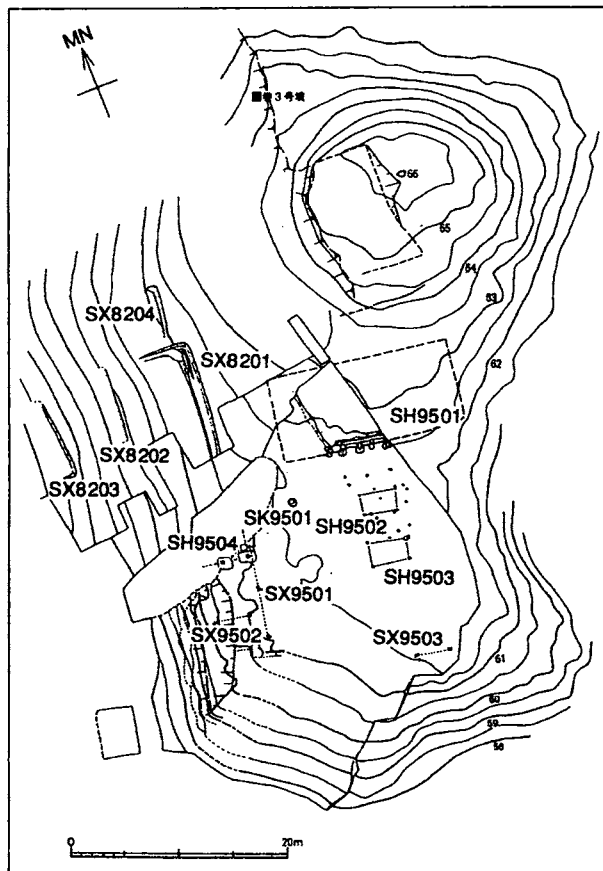


図1 明寺山廃寺遺構配置図(古川1996)

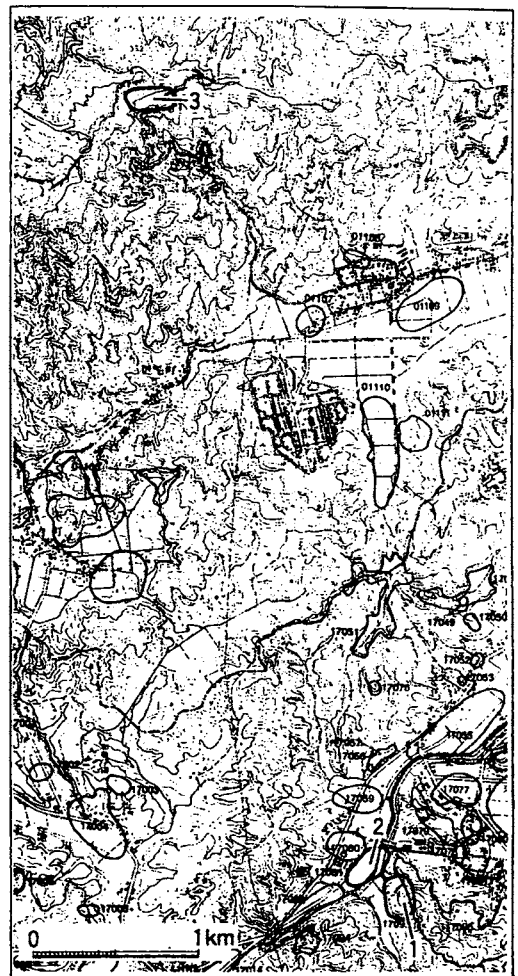


図2 明寺山周辺図(福井県遺跡地図1993を改変)
1 明寺山廃寺 2 鐘島遺跡 3 高雄山遺跡



图3 崇福寺跡 (柴田 1941)

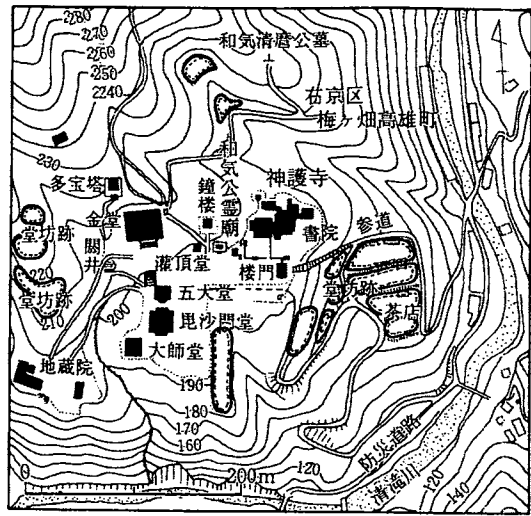


图4 神護寺 (梶川 1994 を改変)

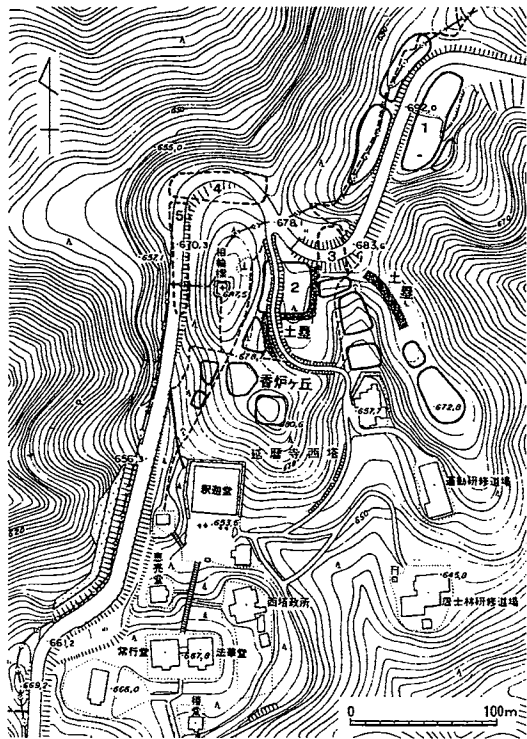


图5 延暦寺西塔

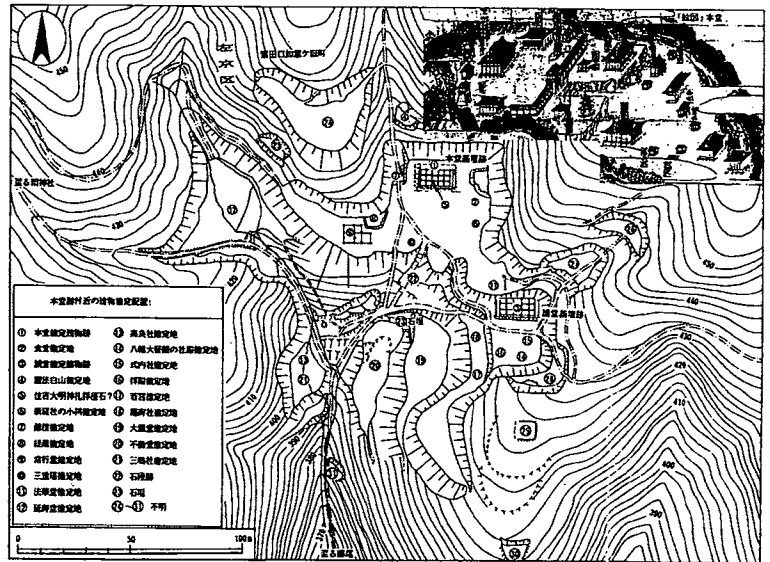


图6 如意寺本堂跡 (梶川 1991)

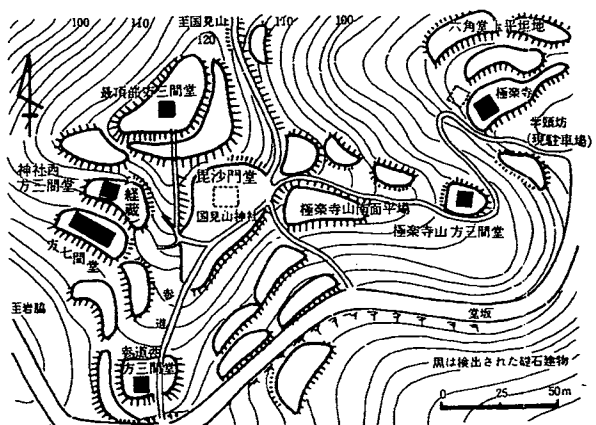


图7 国見山廃寺 (北上市立博物館 1986)

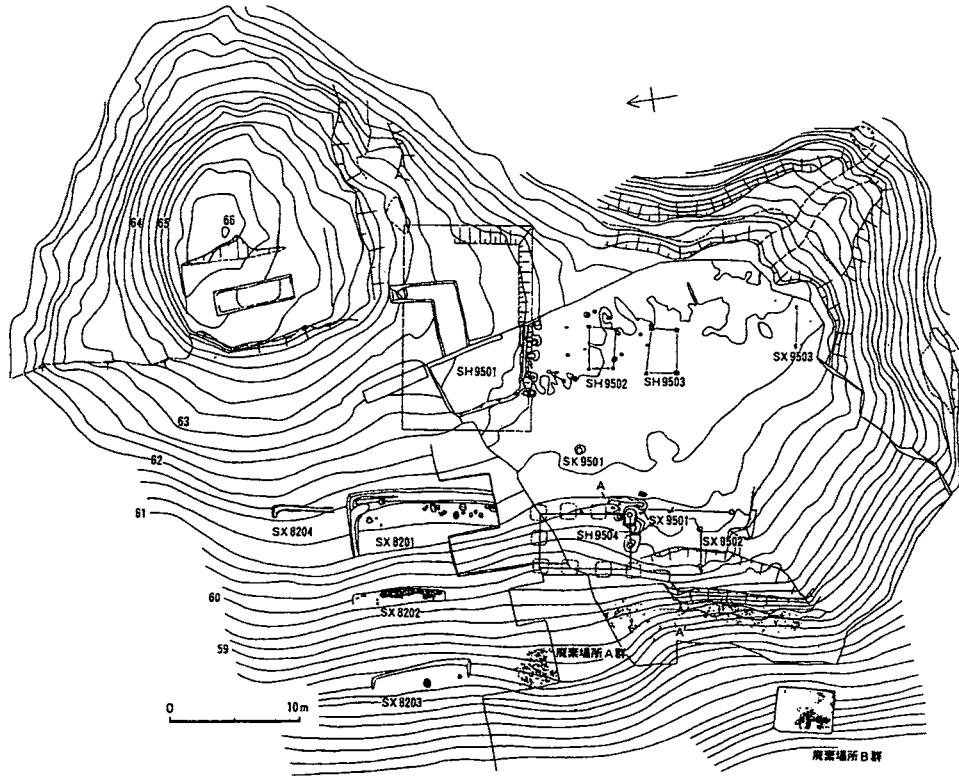


図8 明寺山廃寺 (古川 1998)

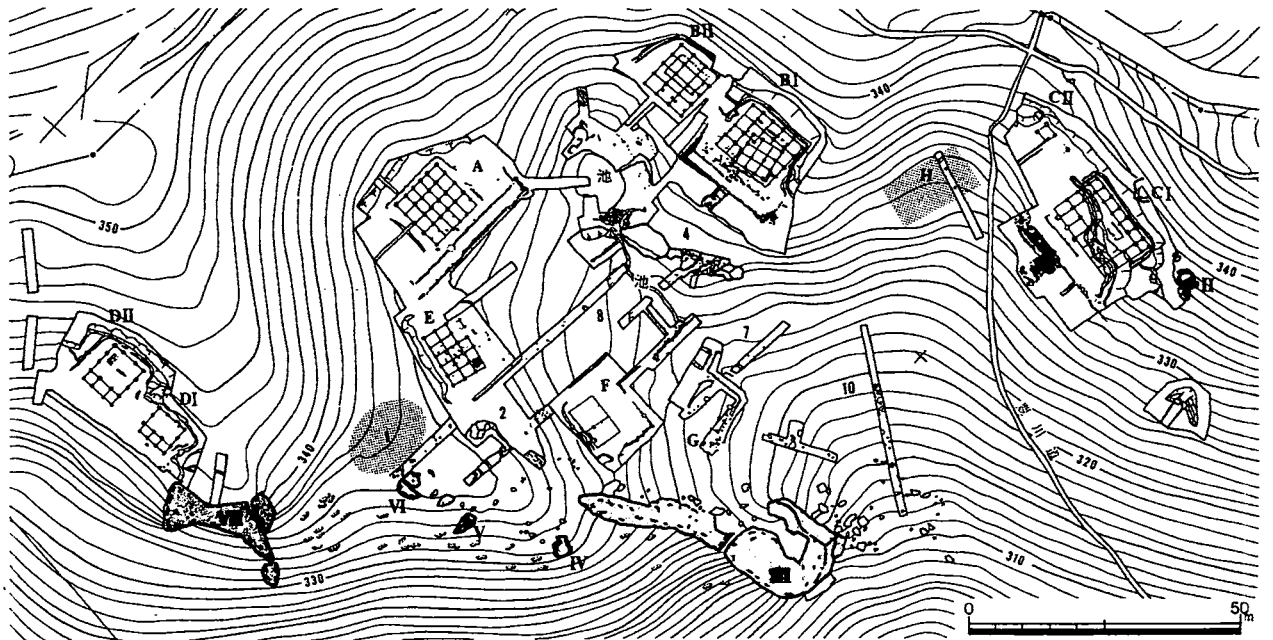


図9 大知波峠廃寺 (後藤 1997)